

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

2025 GUIDEBOOK

保健・医療・福祉の高度専門職へのキャリアアップを支援。
働きながら学べる大学院です。

医療福祉学研究科

【博士課程】 保健医療学専攻

【修士課程】 保健医療学専攻

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

薬学研究科

【博士課程】 医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

【修士課程】 生命薬科学専攻

医学研究科

【博士課程】 医学専攻

【専門職学位課程】 公衆衛生学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ご挨拶

国際医療福祉大学大学院は、我が国の保健・医療・福祉の分野において、指導的な役割を担うことが期待できる高度医療専門職の人材を集め育成することを願って1999年に開設されました。仕事を持つ社会人にも十分な研究環境を提供できるよう、さまざまな配慮をした、他に類を見ないユニークな大学院です。現在、大学卒業後すぐに進学した院生はもとより、すでに医療福祉の現場で働いている社会人の院生も多く学んでいます。

本学大学院は、開設以来医療分野に焦点をあてた新しい専攻や分野が次々に開設されてきました。全国的にも数少ない生殖補助医療胚培養分野、おそらく我が国で初めての医療福祉ジャーナリズム分野、学部ではなく大学院で学んでもらう助産学分野、日本臨床心理士資格認定協会の指定を受けた臨床心理学専攻、全国に先駆けた特定行為看護師養成分野、医療経営管理分野やヒューマンヘルス関連のMBAコース(h-MBAコース)、介護を学術レベルにまで引き上げた先進的ケア・ネットワーク開発研究分野など、枚挙に暇はありません。また、2015年度からは、医療・福祉の分野で教育者・管理者として活躍できる人材の養成を目指し「医療福祉教育・管理分野」を開設し、「臨床検査学分野」や「医療通訳・国際医療マネジメント分野」を開設しました。最近では「遺伝カウンセリング分野」や「災害医療分野」、「医療機器イノベーション分野」も新設しております。このように社会のニーズをいち早く察知し、それに応えるべくダイナミックに進化して行く大学院の運営が本学大学院の大きな特徴のひとつです。

このような特徴に加え、本学は充実した教育機能を備えた6つの大学附属病院（国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学成田病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学駒澤病院）を有しています。特に2020年春に開院した国際医療福祉大学成田病院はアジアを代表する世界的なハブ病院をめざしています。さらにグループ法人が運営する東京都の順和会山王病院、山王メディカルセンター、九州の福岡山王病院、福岡中央病院、高木病院、柳川リバビリセンターなど多数の関連医療福祉施設があります。これらは、いずれも院生の臨床実習施設の場となっています。

また、大学院およびその教員と深く関連した事業として、公開講座「乃木坂スクール」や「生涯学習センター」や、「国際医療福祉総合研究所」などの多彩な附属施設も充実しており、院生たちの教育・研究に多彩な選択肢を提供しております。

本学での大学院教育は学部・大学院が一体となった運営や数多くの分野間における積極的な交流を通じた豊かな学際性が特徴であり、今後もさらにイノベーションを図りつつ「国際的な知の医療交流拠点」として機能し、「進化する大学院」として飛躍・発展をめざしております。皆様の益々のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

※ ICT : Information and Communication Technology



国際医療福祉大学大学院長
医療福祉学研究科長 医学研究科長

矢富 裕 (やとみ ゆたか)

東京大学医学部卒業、医学博士。2005年より東京大学大学院医学系研究科教授。東京大学総長補佐・教育研究評議員、医学系研究科副研究科長・医学部副学部長、医学部附属病院副病院長等を歴任。2023年より現職、東京大学名誉教授。また、日本内科学会、日本臨床検査医学会、日本医療機器学会、日本検査血液学会の理事長を歴任。

沿革

- 1999年 保健医療学専攻（修士課程）開設
2001年 保健医療学専攻（博士課程）・医療福祉経営専攻（修士課程）開設
2005年 生殖補助医療胚培養分野 開設*
医療福祉ジャーナリズム分野 開設*
2006年 助産学分野・視機能療法学分野 開設
2007年 臨床心理学専攻（修士課程）開設
(2008年4月(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定)
2008年 文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」に基づき、
がん治療放射線技師コース・がん薬物療法認定薬剤師コース・
がん登録専門コース 開設
2009年 ナースプラクティショナー養成分野（現 特定行為看護師養成分野）開設
2010年 薬学研究科 生命薬科学専攻（修士課程）開設
医療経営管理分野に医療経営戦略コース(h-MBAコース)開設
診療情報管理・分析学分野（博士課程）開設
2011年 医療福祉ジャーナリズム分野（博士課程）開設
医療福祉心理学分野（博士課程）開設
福祉援助工学分野 福祉用具管理指導者養成領域開設*
(現 福祉支援工学分野 福祉用具管理指導者領域)
2012年 薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）開設
2015年 医療福祉教育・管理分野（修士課程）開設
2016年 臨床検査学分野（修士課程・博士課程）開設
2017年 医療通訳・国際医療マネジメント分野（修士課程）開設
2018年 医学専攻（博士課程）、公衆衛生学専攻（修士課程）開設
災害医療分野（修士課程）、遺伝カウンセリング分野（修士課程）開設
2021年 医療機器イノベーション分野（修士課程）開設
2022年 災害医療分野（博士課程）開設
2024年 医学研究科 公衆衛生学専攻（専門職学位課程）開設

*いずれも国内初

主な役職者紹介



副校长 下川 宏明

九州大学医学部卒（医学博士）。前東北大大学教授および東北大大学病院臨床研究センター長・東北大大学ビッグデータメディシンセンター長。東北大大学客員教授。日本性差医学・医療学会理事長、日本脈管学会副理事長。



副校长 矢富 裕之

九州大学卒、（医学博士）。北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授、九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授、北海道大学産学・地域協働推進機構客員教授等を歴任。



副校长 伊豫 雅臣

千葉大学医学部卒業、（医学博士）。元国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部室長、元浜松医科大学医学部精神神経医学講座助教授、元千葉大学大学院医学研究院精神医学・教授、元千葉大学社会精神保健教育研究センター・センター長（兼任）、千葉大学名誉教授。



副校长 福井 トシ子

国際医療福祉大学大学院修了 博士（保健医療学）。杏林大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター長。同病院看護部長を経て、社団法人東京都看護協会副会長、社団法人日本看護協会常任理事、公益社団法人日本看護協会会长を歴任。

三浦 裕也 薬学研究科長

東北大大学院薬学研究科後期課程修了。薬学博士。アステラス製薬（旧山之内製薬）にて開発研究に従事。青森大大学薬学部教授、学科長、学部長を経て、21年度に本学着任。

八木 秀樹 薬学研究科長

東北大大学院薬学部卒。東北大大学院薬学研究科修士（薬学）、博士（薬学）。塩野義製薬株式会社研究所、東北大大学医学部助手、近畿大学薬学部助手、講師、准教授を経て本学着任。

河上 裕 医学専攻主任

慶應義塾大学医学部卒業、博士（医学）。前慶應義塾大学医学部先端医科学研究所 所長・教授、医学研究科委員長。前本学医学部長、医学研究科免疫学教授、慶應義塾大学名誉教授。

鈴木 康裕 公衆衛生学専攻主任

慶應義塾大学医学部卒業。医学博士。米国ハーバード大学大学院公衆衛生研究科で2つの修士号（Master of Public Health, Master of Science）を取得。WHO（世界保健機関）局長（ナンバー2）、厚生労働省医務技監を歴任。2021年1月より国際医療福祉大学大学院教授を務め、同年3月より副学長に就任。2022年4月より学長。

谷口 敬道 保健医療学専攻主任

東京理科大学、日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻前期／後期博士課程修了。2000年1月に博士（工学）。重症心身障害児施設における臨床経験を経て、本学の創設に参画し現職。

高橋 泰 医療福祉経営専攻主任

金沢大学医学部卒。東京大学医学系大学院修了、医学博士（医療情報）。米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員、米国ハーバード大学公衆衛生校武見フェローを経て本学に着任。

橋本 和明 臨床心理学専攻主任

名古屋大学教育学部卒。元家庭裁判所調査官。武庫川女子大学大学院臨床教育研究科修了、花園大学社会福祉学部長、同大学社会福祉学研究科長。本学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科長。

山田 治美 生命薬科学専攻主任

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻博士課程修了。薬学博士。東京大学医科学研究所附属病院薬剤部、フランス 国立ビシャ・クロウド・ペルナルド病院寄生虫研究室研究員を経て、本学薬学部就任。

「働きながら学びたい。」 —— 社会人が学びやすい3つの特長

1 授業は平日の夕方以降や土日祝日に集約

国際医療福祉大学大学院は、平日の夕方以降や土・日・祝日に授業を集中的に配したカリキュラムとさまざまなICT教育ツールにより、全国の社会人の学びを支援しています。また、図書館のデータベースや電子資料は、学外からのリモートアクセスも可能です。

2 複数のICT教育ツールにより多彩な学修方法

ICT教育ツール

- 自宅など、どこからでも手軽に授業や研究指導を受けられる、Webコミュニケーションツール
- 通勤・休憩時間など、いつでもどこでも自分の都合に合わせて学修できる、eラーニングシステム
- 多数のコンテンツで保健・医療・福祉を幅広く学べる、VODライブラリー

3 全国に7つのキャンパスを開設

大田原（栃木県）、成田（千葉県）、東京赤坂（東京都）、小田原（神奈川県）、熱海（静岡県）、福岡・大川（福岡県）に7つのキャンパスを開設しています。

2018年に開設した東京赤坂キャンパスには、学会や研修が開催できる1,000人規模の講堂や多目的ホールなどもあり、保健・医療・福祉の研究・教育拠点をめざしています。また、東京メトロ「赤坂見附駅」「永田町駅」から徒歩3分とアクセスも良く、社会人が働きながら学びやすい環境を整えています。



東京赤坂キャンパス（東京都港区）



大田原キャンパス
(栃木県大田原市)



成田キャンパス
(千葉県成田市)



小田原キャンパス
(神奈川県小田原市)



熱海キャンパス
(静岡県熱海市)



福岡キャンパス
(福岡県福岡市)



大川キャンパス
(福岡県大川市)

公衆衛生専門職大学院 2024年4月開設

医学研究科では、医学部と連携し保健医療福祉の向上に貢献する有能な人材を育てることをめざして2018年の開設以来、医学専攻（博士課程）と公衆衛生学専攻（修士課程）で大学院生が研究に励んでいますが、2024年には公衆衛生学専攻（専門職学位課程）を開設し、国際的な医療交流拠点として機能できるよう、教育・研究環境を一層充実させることとなりました。

深い学識と学術の理論と応用を極めるとともに、仕事を持つ社会人にも良好な研究環境を提供できるよう、利便性とICTを活用した教育内容が特長です。公衆衛生学専攻（専門職学位課程）は大きく変貌を遂げる国内外の公衆衛生・医療福祉の未来を担うべく、国際感染症、医療福祉管理学、国際保健学や予防医学など、さらなる発展が期待されている分野に力を注ぎ、実践的な高度専門能力を身につけた人材の養成を図ります。

入学定員・修業年限・取得できる学位

専攻種別

医学研究科公衆衛生学専攻（専門職学位課程2年間）

入学定員 20名

取得学位

公衆衛生学修士（専門職）
(Master of Public Health)

開設地

・成田キャンパス（千葉県成田市）
・東京赤坂キャンパス（東京都港区）

特長とカリキュラム

- 国際性を備えた指導的立場に立つ高度な専門職業の養成
- 3分野からなる総合的な公衆衛生専門職大学院として幅広い教育の実施
- 医学・公衆衛生における多数の専門家と、国際医療福祉大学グループの多様な医療機関・施設の活用による充実した教育管理体制

- 英語と日本語のバイリンガルによる大学院教育

- 医師のみならず医療分野・公衆衛生学分野の幅広い人材への公衆衛生教育を実現し、社会人学生にも対応した教育環境の提供

3つの分野

①国際保健・感染症学分野

国際的な健康課題の解決の提案に向けて、現場で対話をを行い、データを収集・解析し、まとめられる人材を育成します。また、公衆衛生の観点から感染症の予防やリスクの評価と対策を実践的にできる人材を育成します。

②医療福祉政策・管理学分野

医療・福祉政策に幅広い知見を持ち、政策の現状と課題を理解しながら解決策を打ち出せる人材を育成します。また、日々専門化・複雑化が進む医療福祉の分野で、データを収集・解析し、個々の医療福祉専門領域にフィードバックできる人材またこれらの人材を育成します。

③疫学・社会予防医学分野

臨床試験に不可欠な統計学、医学研究のデザイン等に役立つ疫学、薬剤疫学など、医療全般でのデータ解析・評価ができる専門家を育成します。また、母子保健、老人保健、産業衛生、予防医学など医学・公衆衛生上の諸問題に適切に対処し、課題を解決できる人材を育成します。

5つの基本専門領域

- 疫学 (epidemiology)
- 生物統計学 (biostatistics)
- 環境健康科学 (environmental health sciences)
- 社会行動科学 (social behavioral sciences)
- 健康政策管理学 (health services administration)

国際医療福祉大学大学院の教育理念

修士課程では、大学を卒業した保健・医療・福祉分野の専門職またはこれに準じる人々に再教育の場を提供することにより、高度専門職を養成します。また博士課程の学生、および修士課程でも研究者を志す学生には、徹底した研究指導を行います。

各教員が、日進月歩する保健・医療・福祉の高度化・専門分化に対応した教育と研究の推進に努めます。

専門性

本大学院は、修士課程では「保健医療福祉の分野において他分野を理解し、連携することができる高度専門職または研究職」を育成することをめざし、博士課程では「保健医療福祉の分野において指導者の役割を果たすことのできる人材」を育成することを目標にしています。この目標を達成するため、4つの教育理念を掲げています。

学術性

学際性

種々の領域の講座を聴講できる、あるいは他領域の先生や学生と討論を行うことができる場の提供により、保健・医療・福祉分野の幅広い視野を持つ学生の養成に努めます。

利便性

働きながらでも学修できる授業時間割編成、Webコミュニケーションツールによる双方向授業の導入などにより、従来なら時間的、空間的制約のために大学院教育を受けられなかった社会人に対しても大学院教育の門戸を開きます。

国際医療福祉大学大学院の課程編成

医療福祉学研究科

博士課程

- 保健医療学専攻
- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 医療遺伝学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

修士課程

- 保健医療学専攻
- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野（旧：ナースプラクティショナー養成分野）
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 遺伝カウンセリング分野
- 医療機器イノベーション分野

薬学研究科

博士課程（4年制）

- 医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程

- 生命薬科学専攻
- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基礎医学研究分野
- 臨床医学研究分野
- 社会医学研究分野

公衆衛生学専攻（専門職学位課程）

公衆衛生学専攻

- 医療福祉政策・管理学分野
- 疫学・社会学予防医学分野
- 国際保健・感染症学分野

分野・専攻によっては受講できるキャンパスが限定される場合があります。

詳細は「大学院学生募集要項」をご確認ください。

分野・専攻紹介

事前面談制度について

出願前に各分野の担当教員との事前面談を行う必要があります。希望する研究テーマと研究指導教員の専門領域が一致するか、また修学にあたっての留意事項などを事前にご相談いただくものです。各分野の連絡先はHPでご確認ください(※臨床心理学専攻は事前面談は必要ありません)。

看護学分野

分野責任者：上別府 圭子 教授

本分野は、研究コース15領域、CNS(専門看護師)コース4領域(がん・精神・感染・在宅)、保健師国家試験受験資格を取得できる公衆衛生看護学領域実践コース、周麻酔期看護学実践コースを開講しています。各キャンパスで指導を受けることができます。

助産学分野

分野責任者：鈴木 由美 教授

本分野では、助産師国家試験受験資格を取得する教育課程、有資格者の高度実践のための「実践コース」、助産学・母性看護学領域の教育・研究職及び管理・指導者のための「論文コース(修士・博士)」の2つのコースがあります。将来に向けてキャリア発達できるように支援します。

作業療法学分野

分野責任者：谷口 敬道 教授

作業活動支援学領域、作業活動分析学領域の2つの領域を展開しています。支援学領域では、インタビューに基づく質的研究などを通じて、作業療法の本質に迫ります。分析学領域では、分析的手法の限界を理解した上で作業療法のエビデンス構築のための思考に近づきます。院生は新人から豊富な経験をお持ちの方、専門は身障・精神・小児・老年・教育などさまざまです。オンライン指導も多く自宅からの履修も可能です。

視機能療法学分野

分野責任者：新井田 孝裕 教授

視覚を営む神経系は精緻な光学系と眼球運動系に支えられ、認知や判断等の高次脳機能と密接に関係しています。基礎的・臨床的視覚研究を通じて実践的な研究技法を修得し、さらに学際研究を推進することで、視覚科学に留まらず幅広い領域で活躍できる高度な応用力と科学的洞察力を有する専門家・教育者・研究者を育成します。

リハビリテーション学分野

分野責任者：角田 亘 教授

リハビリテーションの実務者として、高度な知識と実践力を体得するとともに、研究の創生から研究手順・手法を学び、研究を計画・実施することを目標にしています。医療実践におけるリハビリテーション専門職、関連有識者としての知性と見識を身につけた人材を育成します。

生殖補助医療胚培養分野

分野責任者：堤 治 教授

体外受精により生まれてくるお子様が多い今日、胚培養士の役割はより重要になっています。本分野は、胚培養士に必要な基礎生殖生物学から最新の生殖医学に関する講義を行うとともに、本学関連施設で臨床実習を行い、生殖補助医療に関するさまざまな技術の習得をめざします。

臨床検査学分野

分野責任者：村上 正巳 教授

医療機関、教育研究機関で教員や高度先進医療の研究をめざす臨床検査技師などを対象とした分野です。臨床検査学・医学の知識、技術や高度な科学論法に基づく教育研究を実践し、臨床検査学領域の確立と発展や国際的に貢献できる人材の育成をめざします。

特定行為看護師養成分野

分野責任者：栗田 康生 教授

本分野では、厚生労働省特定行為研修に準拠した21区分38行為の特定行為を習得することができます。さらにプライマリ・ケアおよびクリティカル・周術期の両分野において、多職種と協働しながら迅速かつ適切に対応できるジェネラリスト・ナースの育成をめざします。

理学療法学分野

分野責任者：久保 晃 教授

基礎理学療法学領域、応用理学療法学領域の2つの領域を展開しています。基礎では、基礎医学を含めて運動・動作分析、評価、呼吸循環代謝の研究を行っています。応用では、疾患に対する理学療法や、地域理学療法、教育、国際協力など幅広い研究が可能です。

言語聴覚分野

分野責任者：倉智 雅子 教授

高度な知識技能と指導管理能力をもつ臨床の指導者、研究者、教育者の育成に力を注いでいます。言語、聴覚、発声発語、摂食嚥下の全領域の研究が可能で、実績ある教員が指導します。Evidence based Practice やキャリアアップをめざす方の入学を歓迎します。

福祉支援工学分野

分野責任者：山本 澄子 教授

福祉用具や用具を使用する人の動きを対象に研究を行っています。福祉用具の評価、開発、使用実態の調査などを通して、福祉用具の有効活用をめざします。本分野には計測器を使用した研究を行う福祉支援工学領域と、社会調査を中心とした福祉用具管理指導者領域があります。

放射線・情報科学分野

分野責任者：橋本 光康 教授

医用画像学領域と放射線治療学領域の2つの領域からなり、画像診断・放射線治療に関する基礎研究、臨床上における問題解決のための研究、新技術の開発研究などを行います。修士課程には医学物理コース(医学物理士認定機構認定)を設け、高度専門教育の充実を図っています。

医療福祉教育・管理分野

分野責任者：堀本 ゆかり 教授

保健医療系の教員や管理職をめざす方を対象に、修士課程1年コース(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の国家資格を持ち、3年以上の実務経験が必要)と2年コース、博士課程があります。遠隔地や社会人でも学べるようオンラインによる授業やセミを用意し、高度な実践力と研究力が身につくようサポートしています。

災害医療分野

分野責任者：石井 美恵子 教授

災害対応にあたる医療専門職や行政職などを対象に、災害対応の知識や技能を幅広く修得できます。組織の災害マニュアルや事業継続計画の策定、災害訓練の評価のあり方、災害対応に関連した教育プログラム開発など、災害時の課題を解決できる人材の育成をめざします。新たに博士課程を開設しました。

医療遺伝学分野（博士）／遺伝カウンセリング分野（修士）

分野責任者：西垣 昌和 教授

ゲノム医療の時代を迎え、認定遺伝カウンセラーの養成が急務となっています。本分野では、ゲノム医療にかかる各専門領域のプロフェッショナルによる講義や、グループ内病院などでの実習やゲノム解析実習を通して、専門性と人間性を備えた認定遺伝カウンセラーの育成をめざします。

医療機器イノベーション分野（修士）

分野責任者：矢富 裕 教授

超高齢社会において、各ライフステージに対応した医療機器の開発・改良へのニーズは高まっています。本分野では臨床現場の様々な課題を汲み上げ、その解決を通じて医療の質の向上に貢献できる、「医療現場からのフィードバックを実装する医療機器開発・管理の専門家」を養成します。

医療福祉経営学分野（博士）／医療経営管理分野（修士）

分野責任者：高橋 泰 教授

医療・福祉組織のマネジメントや、医療・福祉政策に関心をもつ方を対象とした分野です。ヘルスケア分野における高い経営戦略立案能力を有する人材育成を目的とした医療経営戦略コースと、医療・福祉に関わる経営・政策・情報などの研究課題を探求する医療福祉管理学コースがあります。

診療情報管理・分析学分野（博士）／診療情報アナリスト養成分野（修士）

分野責任者：山本 康弘 教授

診療情報管理学領域における体系的な理論と実践を学び、学術研究論文を執筆して修士号・博士号の取得をめざす分野です。修士課程は、医療現場の実務課題をアカデミックな観点から問題解決を図る課題研究コース、修士学位論文を執筆するコース、がん登録を専門的に学ぶコースがあります。

医療福祉国際協力学分野

分野責任者：山本 尚子 教授

本分野では、将来、国際協力の現場で活躍するために研究を行う博士課程を開講しています。ご自身の問題意識をもとに課題にとりくみ、成果を現場に還元したいという方をお待ちしています。

先進的ケア・ネットワーク開発研究分野

分野責任者：石山 麗子 教授

本分野は、広くケアとネットワークに関する「先進的な開発」を行っていくことを目的にしています。主に自立支援に関する介護およびケアマネジメントの実践および基礎をテーマに研究しています。ケアの現場や教育の現場が抱える問題の改善に、院生が主体的に取り組んでいます。

医療福祉学分野

分野責任者：小林 雅彦 教授

本分野は社会福祉学を学問的基盤とし、社会福祉と保健医療という2つの領域を中心として関連する諸分野をも視野に入れた研究課題を深めることができます。実践経験にもとづく問題意識をもとに、研究課題としてとりくみ、研究成果を実践に還元したいという意欲ある学生を歓迎します。

医療福祉ジャーナリズム分野

分野責任者：丸木 一成 教授

ジャーナリストとしての発信力を磨こうという人だけでなく、社会に向かって発信したいという思いをもった方、医療や福祉の専門職、NPO関係者が学んでいます。そのために必要な「伝える技術」を、ジャーナリストとして活躍した教授陣が、一人一人の持ち味を生かし作品や論文の完成まで親身に伴走します。

医療通訳・国際医療マネジメント分野

分野責任者：押味 貴之 教授

本分野には、医療通訳や国際医療事務・国際医療マネジメントの知識を備え、いわゆる国際医療コーディネーターとして活躍できる人材の育成をめざした「1年間の実践コース（英語・中国語の各コース）」と、当該分野に関する研究を行う「2年間の修士論文コース」の2コースがあります。

臨床心理学分野（博士）／臨床心理学専攻（修士）

分野責任者／専攻主任：橋本 和明 教授

家族心理学、司法犯罪心理学、精神医学、特別支援教育を含む学校臨床、被害者支援、高齢者臨床など多彩な専門領域の教員を揃え、各年代の諸テーマに対応しています。保健医療福祉分野において多職種協働ができ、社会ニーズに応える専門職の育成に努力しています。

薬学研究科

研究科長：三浦 裕也 教授

本研究科は、特に、がん・感染症・精神神経疾患等の薬物治療において、豊富な知識と技術、これらの領域において高度な研究能力を兼ね備えた専門性の高い人材を育成します。専門薬剤師や研究者、教育者育成につながる多岐にわたる研究を行っているので、興味ある研究を実施することが可能です。

薬科学研究科

研究科長：八木 秀樹 教授

薬科学はライフサイエンスを基盤として、生命や健康について研究する総合的な応用科学です。これらの研究により得られた新しい知識や技術などの成果をもって人類の健康に貢献することを目的とします。本研究科は、高いリサーチマインドや臨床能力を身につけた広範な薬学的専門知識を有する薬学研究者、専門薬剤師の育成をめざします。

医学研究科 医学専攻（博士）

専攻主任：河上 裕 教授

基礎医学研究分野、社会医学研究分野、臨床医学研究分野のいずれかの研究室に所属し、さらに希望する方は分野横断的な自由科目の履修による幅広い教育を受講できます。国際的に活躍できる医学研究者、および専門医や行政官等、博士号を取得し高度専門職業人をめざす方を募集します。

医学研究科 公衆衛生学専攻（専門職学位課程）

専攻主任：鈴木 康裕 教授

2024年度より専門職学位課程となり3分野からなる総合的な公衆衛生専門職大学院として幅広い教育を展開します。各分野の専門家、グループの多様な医療機関・施設の活用による充実の教育管理体制で、実践的な公衆衛生学教育を行います。

大学院の各種制度・関連施設

■ 長期履修制度について

修士課程の標準修業年限は2年間、博士課程の標準修業年限は3年間（医学研究科、薬学研究科博士課程は4年間）と定められていますが、就業上の理由や、家事・育児等の理由で、学修時間が十分確保できない事情が認められる場合には、一部をのぞく修士課程では3年間、博士課程では4年間（医学研究科、薬学研究科博士課程では5年間）での計画的な長期履修をあらかじめ申請することができます。

学生納付金や手続きなどの詳細は、大学院学生募集要項でご確認ください。

大学院学生募集要項 ▶▶▶



検索

国際医療福祉大学 大学院募集要項

■ 奨学金

奨学生を必要とする大学院生の多くが、日本学生支援機構奨学生を利用しています。その他、自治体や財団などのさまざまな奨学生がありますが、原則は応募にあたって学内選考を行うほか、奨学生を拠出する自治体、財団での選考があります。

各奨学生によって応募資格や方法、採用条件が異なりますが、合格後に、大学院経由の応募を求められることがほとんどです。

合格者には、合格通知書とともに手続要項をお送りします。奨学生の利用を検討される方は、出願時にお問い合わせください。

日本学生支援機構 大学院へ進学予定の方 ▶▶▶



検索

日本学生支援機構 大学院

■ 公開講座「乃木坂スクール」

社会人を対象とした大学院公開講座です。講座の内容は、医療福祉の幅広い領域をカバーするとともに、まさに現在私たちが直面する課題や時代の潮流を先取りしたテーマなど多彩です。

大学院の正規授業を一般公開する形式と、独自に講座を企画する形式があり、平日の夜間帯を中心に基本的に1講座15回で行われます。

ゲスト講師には医療福祉分野の第一線で活躍するリーダー・有識者の方々を迎え、最新のトピックスを取り上げます。Web受講にも対応しており、開講中は好きな時に何度も視聴が可能。本学大学院生は、ほとんどの講座を無料で聴講できます。



最新の講座情報や、講義の様子などがご覧いただけます。

X

Facebook



講座紹介 ※カッコ内は授業科目名

- 特別講座「介護事業マネジメント講座」
中村 秀一 教授
- 医療・介護における DX と働き方改革（最新の医療福祉の動向Ⅰ）
高橋 泰 教授
- ケアマネジメント・自立支援介護（介護福祉・ケアマネジメント学講義・演習）
石山 麗子 教授

■ 生涯学習センター

2005 年に看護生涯学習センターとして看護分野の人材育成及び個人に合わせたキャリア支援など、生涯学習を支援することを目的として設立された当センターは、2022 年度、看護職のみならず医療技術職員の多彩な教育カリキュラムを展開する「生涯学習センター」に生まれ変わりました。

東京赤坂キャンパスに設置され大学院と連携する当センターの大きな特長は、最新の医療福祉や看護の動向について講義を提供しているベテラン講師陣と、都心にあり通学にも便利でオンライン教育にも対応できる優れた教育環境です。

看護職対象の「認定看護管理者教育課程」「保健師助産師看護師実習指導者講習会」カリキュラムに加え、多職種を対象とした医療安全管理カリキュラムや、リハビリ職種等を対象としたカリキュラムを展開しています。

国際医療福祉大学 生涯学習センター ▶▶▶



■ 九州地区生涯教育センター

福岡にも「九州地区生涯教育センター」が置かれており、特定の看護分野及びリハビリテーション分野における高度な専門知識・技術を修得し、熟練した医療を提供すると同時に、看護職者・医療職者の生涯学習を支援する取り組みを行っています。（2023 年現在）

URL <https://www.iuhw.ac.jp/mcec/kyushu/>

■ 赤坂心理相談室

東京赤坂キャンパス内にあるこの施設は、相談者の心理的な問題を一緒に考え、解決に向けて援助する、地域に開かれた心理相談機関です。

主にトレーニングを受けた臨床心理学専攻の学生が、教員（各認定協会より認定を受けた公認心理師・臨床心理士）の指導のもと相談にあたります。

附属病院などのグループ施設のほか、こうしたキャンパス内施設があることで、実習や実務経験がとくに重要となる公認心理士・臨床心理士の資格取得を志す学生にとって、またとない学修環境が整います。



心理相談室の様子
心理相談を通じて、臨床心理学専攻の学生の心理実習も実施しています。

■ 災害保健医療研究センター

わが国は、地震や台風、集中豪雨などにより多くの方が犠牲となる自然災害が繰り返されてきており、災害が私たちの生活に及ぼす影響はこれからも避けられません。新型コロナウイルス感染が収束していない中、災害時の避難所等の感染対策も喫緊の課題となっています。

2020 年 4 月に開設された本センターでは、医療福祉の総合大学院として、次の活動を推進していきます。

- 1) 災害医療分野の集学的研究や人材育成
- 2) 災害対策関係者のネットワーク構築
- 3) 地域の防災の整備、とくに被災時の地域住民の安心・安全を守る取り組み
- 4) 防災に関する行政との対話や知識の啓発
- 5) 災害医療に関する知識や情報の全国的な発信

大学院の履修イメージ

大学院ではそれぞれの課程、専攻や分野・領域ごとに修了要件が設定されています。

基本的には、修士課程の場合、①大学院学則に定める修業年限以上在学し、②授業科目について所定の単位以上を修得し、③必要な研究指導を受けたうえで学位論文の執筆または課題研究を行い、論文審査（または課題研究成果の審査）及び最終試験に合格することで修了となります。

博士課程の場合は課題研究はありませんので、全員が博士論文を作成し、論文審査に合格することで修了できます。

定められた修業年限

修士課程

1年間もしくは2年間

博士課程

3年間もしくは4年間

（専攻・分野・領域により定められた年限は異なります。）

必要な単位の修得

必修科目

講義、演習、研究指導

（実習が課される分野・専攻もあります。）

選択科目

学位論文の執筆 課題研究の作成



審査に合格
最終試験に合格

修士課程

必修科目 18 単位 + 選択科目 12 単位 = 30 単位以上

必修科目・選択科目の単位数は、専攻・分野・領域・コースによって大きく異なります。

例：福祉支援工学分野 福祉用具管理指導者領域 福祉用具管理指導者コースは必修のみ 32 単位以上

放射線・情報科学分野 放射線治療学領域 医学物理コースは必修 39 単位+選択 8 単位= 47 単位以上
など

博士課程

必修科目 = 12 単位以上

医療福祉学研究科のすべての専攻・分野で、上記のように定められています。

一方、薬学研究科では、必修 22 単位 + 選択 10 単位= 32 単位以上、医学研究科では必修 20 単位 + 選択 10 単位= 30 単位以上の修得が必要となり、研究科によって異なりますのでご注意ください。

入学から修了までの流れ

大学院に入学をしてから修了するまでの流れを簡単にご説明します。

本学では多種多様な専攻・分野・領域を展開しており、それぞれ特色ある学修を展開していますので、あくまで一例になりますが、ご自身の大学院生活の参考にしてください。

入 学

修士課程・専門職学位課程

修業年限：1年間もしくは2年間

必要な単位の修得

必修および選択として設定された講義や演習、研究指導科目を履修し、単位を修得します。対面での講義やeラーニングでの自宅学習、定期的な個別指導やゼミなどを通じ、論文執筆・課題研究の作成に向けて研究のテーマを検討し、必要な知識を修得します。学外や学内での実習が課される分野もあります。

博士課程

修業年限：3年間もしくは4年間

必要な単位の修得

博士課程は博士学位論文の作成を最終的な目標としています。講義、演習、研究指導等で構成される必修科目を履修しながら、研究テーマの策定、必要な文献検索、実際の論文作成を指導教員と二人三脚で進めています。他分野で展開される科目なども履修できるので、幅広い領域の知識を吸収し、論文の完成をめざしましょう。

研究報告会

修士課程、博士課程ともに、年に1回、論文作成を課されているすべての専攻・分野の院生が一堂に会し、それぞれの研究進捗を発表し合う研究報告会があります。他分野、他領域の先生や院生からの質疑も飛び交い、分野の枠を超えて新たな知見を得られる機会になります。

またこうした定例の報告会の他、各分野内で定期的に報告会を行ったり、課題研究を課されている専攻・分野は独自で報告会を開催するなど、研究を深める機会が定期的に設けられています。

論文審査・課題研究の審査

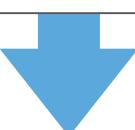
修士論文は最終学年の秋に論文を提出し、指定された3名の審査員にプレゼンテーションを行い、論文の審査を受けます。課題研究の場合は最終学年の終わりまでに、分野内で行われる審査会で合否の判定を受けます。

論文の審査

博士論文は最終学年の秋に論文を提出し、指定された3名の審査員にプレゼンテーションを行い、論文の審査を受けます。審査は時に多くの指摘事項を受け、修正を踏まえた何次にも及ぶ審査会の末に合否が判定されます。

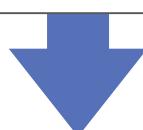
研究成果発表会

修士課程、博士課程それぞれ、論文審査に合格した方は研究成果を発表します。この発表会においては、研究成果を大学院全体で共有する目的のほか、他分野の先生や院生からの質疑も行われ、論文をより良いものに仕上げる最終的な機会となります。



修了

論文審査または課題研究の審査まで合格すれば晴れて修了となり、修士の学位が得られます。修了後は大学院で学んだことを職場などで実践したり、より研究を深めるために博士課程に進学する方も多いです。



修了・満了

論文審査まで合格すれば晴れて修了となり、博士の学位が得られます。審査に合格しなかった場合は、留年するか、満了（単位取得退学）をするかを選べます。満了後も、論文博士の審査を受けることで学位取得をめざすことができます。

授業時間・授業週間

本大学院では、1年を前期と後期に分け、それぞれ15週間ずつの授業週間として設定しています。前期と後期でそれぞれ履修科目を選択し、単位を修得します。成績の判定は、授業への出席（eラーニング科目の場合は各回の学修）、および課題や期末レポートで判断します。また、各期の間に集中講義として実施する科目もあります。

1日は7時限まで設定され、多くの講義を18時以降（6時限以降）に開講しており、仕事を持つ社会人でも通いやすい時間設定となっています。eラーニング科目をうまく組み合わせることで、登校する曜日を限定することも可能です。

授業週間

学期	期間
前期	4月～7月末
夏季休暇	8月～9月上旬
後期	9月中旬～1月上旬
冬季休暇	1月中旬～3月末

※年度によって多少前後します。

授業時限と時間帯

時限	期間
1時限	09:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50
6時限	18:00～19:30
7時限	19:45～21:15

※土曜日は6時限まで、日曜日は授業はありません。

実際の時間割例

時間割は選択する科目はもちろん、各分野の必修単位により大きく異なります。多くの分野・専攻では夜間帯と土曜日を中心に講義を展開していますが、例えば臨床心理学専攻では平日の日中に授業を展開しており、特定行為看護師養成分野では木・金・土の終日を授業日として設定するなど、それぞれに特徴があります。

以下に一例をお示しますが、ご自身の志望される分野・専攻の時間割は、HP等でご確認ください。

働きながら看護学分野（CNSコース）に通う学生のモデル1週間

赤坂花子さん（仮名）：1年在学中、東京都内在住。都内の病院にて看護師として勤務している。

赤坂さんの1週間

月	火	水	木	金	土	日
13:00～17:50 勤務	勤務	家事 予習、復習	3限： 高度実践病態生理学 4限： (専門領域) 講義Ⅰ 5限： 自習(図書館利用)	3限： 高度実践フィジカル アセスメント 4限： 高度実践 臨床病態生理学 5限： 高度実践 臨床薬理学	3限： 高度実践クオリティ マネジメント論 4限： 看護学研究法Ⅱ (量的研究) 5限： ゼミナール	勤務または休日
18:00～19:30 6限：疫学概論 (オンライン)	6限：看護学研究法 (オンライン)		6限：統計学入門	6限：看護倫理学	教員、ゼミ生と 懇談後帰宅	
19:45～21:15 夕食 ↓ 予習・復習	7限：高度実践 看護学講義 (オンライン)		夕食 ↓ 予習・復習	7限：高度実践 看護学講義	夕食、家事など ↓ オンライン講義の 復習	趣味、カルチャー スクールなど ↓ 予習・復習
21:15～		夕食 ↓ 予習・復習		夕食 ↓ 予習・復習		

赤坂さんの学修スタイル

- 平日は17時15分まで業務。あらかじめ授業実施曜日（木～土曜日）が決まっており、勤務調整の上、授業に参加し、学修を進めている。時には夜勤明けで授業に参加することもある。
- オンライン上で開講されている講義もあり、自宅やインターネット環境のある場所であれば任意の場所から参加できることも便利。
- 週末に多くの講義が開講されるため、講義への出席や復習はかなり大変だが、講義のない日の空いた時間などを利用して、課題をためないように努力している。
- 1年目は前期から講義、後期から演習が多く、2年目には実習や課題研究、ゼミナールもあるため、1年目で講義・演習科目を確実に修得し、2年目は余裕をもって実習に参加したい。

修了生・在学生の声



修了生

高橋 汐南 さん

修士課程 助産学分野 実践コース 2023年度修了
国際医療福祉大学病院 勤務

私は国際医療福祉大学で学び、看護師の資格を取得しました。在学中の実習を通して命の誕生に立ち会えることの素晴らしい経験を実感し助産師になりたいと思うようになりました。しかし、私に向いているのかわからず、進学を悩んでいたところに母性看護学の担当であった先生に背中を押していただき大学院に進学することを決めました。大学院では分娩の4要素に関する助産師の考え方について研究を行いました（本学学会誌に掲載）。実際にインタビューを行ったり研究をまとめたりしていく中で、助産師は基本を大切にし、分娩だけでなく育児期までを見据えた継続支援をしていることを学びました。この研究が現在働いている中でも生かされていると感じています。また、大学院を卒業したことで助産師資格とともに修士を取得できることも強みになっていると感じています。



在学生

修了生

塚本 和代 さん

博士課程 作業療法学分野 在学中／修士課程 作業療法学分野 2023年度修了

福岡山王病院 リハビリテーション室 勤務

修士学位論文テーマ「母指CM関節症における術前罹病期間と上肢機能評価表との関係—DASHの機能障害

スコアならびに患者背景等の諸要素に着目した分析—」

私は福岡山王病院で、作業療法士として臨床業務をしながら修士課程に進学しました。なぜなら、研究の統計手法を学び、その成果を臨床に還元したいと考えたからです。本学は、仕事をしながら学べるようにICT教育などの学修方法が選択可能であり、私のように仕事と子育てをしながら、学びたいと思う方にはありがたい環境です。修士課程では高度な専門性を身に着けることが出来たことに大変満足しています。さらに、博士課程では指導的役割を担うことが出来ることを目標として進学しました。一緒にキャリアアップしてみませんか。



在学生

修了生

松田 清人 さん

博士課程 医療福祉ジャーナリズム分野 在学中

修士課程 医療福祉ジャーナリズム分野 2023年度修了

1979年大学卒業後、製薬企業でがむしゃらに働いてきました。2022年から「勉強することに浸ってみたい」という欲求を実現させるため、乃木坂スクール受講で知っていた国際医療福祉大学大学院修士課程に入学しました。修士論文のテーマは「精神病床を有する病院に入院している認知症のある人の身体拘束を減少させる」で、医療福祉ジャーナリズム学修士を得ました。引き続き博士課程にて研究を継続することにしましたが、学位を得たいというより、勉強する環境を継続したいという気持ちで、気楽に臨もうと思っています。幅広い自由なテーマを設定できるのが医療福祉ジャーナリズム分野です。教授陣や様々な経験をお持ちの方々と新しい「縁」も結べ、楽しい経験になると思います。皆さんへお奨めいたします。

◆◆◆◆◆ 九州地区キャンパスのご紹介 ◆◆◆◆◆

大川キャンパス

キャンパス内には「福岡保健医療学部」「福岡薬学部」があり、周辺には本学の臨床医学研究センターである高木病院など医療・福祉施設が充実。教育・研究・臨床の三位一体となった環境が整っています。



大川キャンパス

福岡キャンパス

福岡キャンパス

本学姉妹校の福岡国際医療福祉大学や臨床医学研究センターである福岡山王病院が近くにあり、教育・研究環境が充実しています。



国際医療福祉大学の「福岡キャンパス」には姉妹校の福岡国際医療福祉大学と関連施設である福岡山王病院が、「大川キャンパス」には福岡保健医療学部、福岡薬学部と高木病院、柳川リハビリテーション病院など医療・福祉施設が近接しており、教育・研究・臨床の三位一体となった環境が整っています。現在、多くの短大・専門学校卒業生や医療専門職が学んでいますが、社会人も学びやすい環境が整備されています。

皆さん、修士・博士としてさらなるキャリアアップを目指してみませんか！

副大学院長（九州地区担当）
筒井 裕之 教授



高木病院



福岡山王病院



柳川リハビリテーション病院

□お問い合わせ・資料請求

大川キャンパス事務部 0944-89-2018 / oocamp@iuhw.ac.jp
福岡キャンパス事務部 092-407-0434 / fukucamp@iuhw.ac.jp

□九州地区大学院の詳細はコチラ

<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/kyushu/>



大学院に関する詳しい情報は、ホームページ、募集要項をご覧ください。

ホームページ <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学大学院

■ 大田原キャンパス

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
Tel: 0287-24-3729 E-mail: otawara.s.c@iuhw.ac.jp
JR「那須塩原」駅東口より スクールバス約20分

■ 成田キャンパス

〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3
Tel: 0476-20-7701 E-mail: narita.s.c@iuhw.ac.jp
京成本線「公津の杜」駅前 徒歩約1分

■ 東京赤坂キャンパス

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26
Tel: 03-5574-3900 E-mail: tokyo.s.c@iuhw.ac.jp
東京メトロ「赤坂見附」「永田町」駅A出口より 徒歩約3分

■ 小田原キャンパス

〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25
Tel: 0465-21-6500 E-mail: odawara.s.c@iuhw.ac.jp
JR・小田急線「小田原」駅西口より 徒歩約3分

■ 熱海キャンパス

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1
国際医療福祉大学熱海病院内
Tel: 0557-81-9171 E-mail: atami.s.c@iuhw.ac.jp
JR「熱海」駅より 徒歩約8分 または、バス「大学病院前」

■ 福岡キャンパス

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
Tel: 092-407-0434 E-mail: fukucamp@iuhw.ac.jp
福岡市営地下鉄「西新」駅1番出口より 徒歩約15分 または、
西鉄バス「医師会館・ソフトリサーチパーク前」より 徒歩約1分

■ 大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
Tel: 0944-89-2018 E-mail: oocamp@iuhw.ac.jp
西鉄「柳川」駅より バス約20分、JR「佐賀」駅より バス約30分

国際医療福祉大学

■ 大田原キャンパス

- 保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科、医学検査学科（2025年4月開設予定・認可申請中）
- 医療福祉学部：医療福祉・マネジメント学科
- 薬学部：薬学科（6年制）

■ 成田キャンパス

- 医学部：医学科
- 成田看護学部：看護学科
- 成田保健医療学部：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科、放射線・情報科学科
- 成田薬学部：薬学科（6年制）
- 臨床工学特別専攻科（1年制）
- 介護福祉特別専攻科（2年制）

■ 東京赤坂キャンパス

- 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部：心理学科、医療マネジメント学科

■ 小田原キャンパス

- 小田原保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科

■ 大川キャンパス

- 福岡保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科、医学検査学科
- 福岡薬学部：薬学科（6年制）

附属病院



国際医療福祉大学病院（栃木県）



国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県）



国際医療福祉大学成田病院（千葉県）



国際医療福祉大学市川病院（千葉県）



国際医療福祉大学三田病院（東京都）



国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス事務部

Tel : 03-5574-3900

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

Tel 03-5574-3903

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>